

真実を伝える組合機関紙

かいな

JMITU(日本金属製造
情報通信労働組合)
日本アイビーエム支部

東京都港区赤坂2丁目20の6
川瀬ビル5F 〒107-0052
TEL: 03-3583-9037
FAX: 03-5562-0853

定価 月 500円

24春闘アンケート

怒りの声、切実な声、多数 是非アンケートにご協力下さい

組合は毎年、従業員の皆さんに向けて春闘アンケートを実施し、その回答を元に春闘要求を作り、回答として頂いたご意見を春闘要求とともに会社提示しています。

24春闘アンケートにご回答頂いた日本IBMグループ、キンドリルジャパン・グループの従業員皆さん、ご協力誠にありがとうございます。

24春闘アンケートの回答はまだ受け付けておりますので、ご回答が済みでない方は是非アンケートにご協力下さい。ご回答方法は次の通りです。

① JMITU日本IBM

支部ホームページを開く。

② トップページ上部にある「各種アンケート」←

「2024年春闘アンケート」

をクリックする。

③ 設問に回答後、送信ボタンを押す。

24春闘では、なんとしも物価高騰からくらしをまもる大幅賃上げを勝ち取らなければなりません。

こうした情勢の中、24春闘アンケートでは従業員の皆さんのご意見として、物価高騰と賃上げ、1回分少ない賃上げ(2020年から2023年の4年間に3回)、在宅勤務手当、定年後の労働条件、人事評価・人事施策などについて、怒りの声、切実な声を多数頂いております。では、春闘アンケートに頂いたご意見を以下に紹介します。

物価高騰と賃上げについて

大幅賃上げと均等待遇ではたらく者の生活を改善しよう!

許すなリストラ! 労働法制改悪阻止! 雇用と権利をまもろう!

最低賃金早期に1,500円、全国一律最低賃金制を実現しよう!

大企業の内部留保を賃上げと中小企業に還元させよう!

ジェンダー平等の職場と社会を実現しよう!

65歳までの定年延長と生活できる賃金を実現しよう!

消費税5%への減税実現、地域経済のかなめ、中小企業や商店街を元気にしよう!

年金切り下げ反対! 生活できる年金を実現しよう!

岸田大軍拡反対! 軍事費を削って、医療・福祉・教育にまわせ!

戦争につながる憲法改悪反対、平和・民主主義をまもろう!

辺野古新基地建設反対、普天間基地は撤去させよう!

脱原発・再稼働反対、再生可能エネルギーへの転換をはかろう!

日時 3月2日(土) 12:30 開場、13:00 開会、*14:40 パレード出発

場所 東京都青山公園南地区多目的ひろば(東京メトロ乃木坂駅下車徒歩5分)

終了後 パレードを行ないます(青山公園~表参道~明治神宮前~代々木公園)

裁判・労働委員会スケジュール

以下に今後のスケジュールをお知らせします。

AI 不当労働行為事件	2/27(火) 9:20 都庁第一庁舎南1階集合
定年後再雇用賃金差別裁判	3/28(木) 13:10 東京地裁510号法廷
定年後再雇用不当労働行為事件	都労委命令の交付待ち



ある日、同じ仕事をしているタスクメンバー15人でランチ会を行った。箱崎本社近くの茅場町のイタリアンレストランで行った▼同じタスクメンバーとはいってもほとんどのメンバーはテレワークで普段はメールや電話やスラックでしか会話をすることが無い人がほとんどだった。料理は前菜、冷製スープ、肉料理、パスタ、デザート、コーヒードrinkなど盛り沢山だったが、タスクメンバーとの会話が楽しかった。普段は仕事関係しかメールやスラックなどしかしてなかったが、意外な面や意外なお話などができてなかなか楽しいランチ会であった。あつという間に昼休みが終わってしまった▼成果を求めて朝から晩まで仕事するだけでなく、たまにはランチ会などで楽しみの機会を作るのはいかがだろうか?(KY)

円の在宅勤務手当も現在の物価高騰に対してまだ安い。

定年後の労働条件について

・もうすぐ定年退職だがシニア契約社員の年収がかなり低い為、シニア契約社員になるか退職後別会社に勤めるかで悩む。

・シニア契約社員についても年間平均で見た最低賃金ギリギリの金額では到底生活できない。

・まともな人間ならシニア契約社員の月給を18万5千円で放置できないし、社員を大切にしない会社からは人が離れていき将来の成長は見込めない。

・雇用延長者の給与を上げてほしい。

人事評価・人事施策について

・ペイフォーパーフォーマンスといながら、パフォーマンスの評価基準、昇進の仕組み、給与調整金額の根拠が不透明であり、さらに所属長は十分な説明責任を果たしていない。

在宅勤務手当について

・大多数の従業員が在宅勤務をしている中、日本IBMは組合の再三の要求を無視して在宅勤務手当を支給せず、キンドリルジャパンの1日200

ルジャパンの1日200

ルジャパンの1日200

ルジャパンの1日200





24春闘闘争宣言行動 賃金上げる 物価高騰から暮らしを守れ

全労連・国民春闘共闘委員会・東京春闘共闘会議・千代田区春闘共闘は1月12日、東京都内で、本格的に始まる24春闘を内外にアピールする「2024年春闘闘争宣言行動」を実施。お昼前の厚生労働省前行動から始まり、丸の内から経団連に向かつてデモを行い、最後に経団連包囲行動を行

いました。約500人が参加し、横断幕やプラカード、のぼり旗をかがけ、賃金上げる、物価高騰から暮らしをまもれ、企業は社会的責任を果たせ、と迫りました。

経団連包囲行動で主催者挨拶に立った国民春闘共闘の小畑代表幹事（全労連議長）は「異常な物価高のもと、大幅賃上げ、



底上げは待ったなしの状況だ。日本を実質賃金が高くなる国へ転換をするため、納得のいかない回答にはストライキを構え、労働組合の闘争力、団結力、組織力を高めてたたかいぬこう」と表明。全労働者が生活改善できる賃上げが必要だとし「最低賃金の全国一律1500円が今すぐ必要だ」と強調しました。

続いて、自交総連、全教、JMITU、首都圏青年ユニオンの代表が決意を表明しました。

自交総連の代表は「白タクを合法化するライドシェアは利用者の安全が脅かされるとして総力で阻止する」と訴えました。

全教の代表は「この春闘で労働者の賃金を物価

組合なんでも相談窓口				
会社名	事業所名	職 場 名	氏名	電話番号
IBM	箱崎	I S E L	大岡 義久	03-3808-5175
Kyndryl	箱崎	サービスエクセレンス	笹目芳太郎	080-5915-6329
IBM	箱崎	T L S ソリューションデザイン	中川 賢	080-5915-6237
IBM	大宮西	T L S . C E	佐久間康晴	080-5915-7817
IBM	大阪	T L S	河本 公彦	080-5915-5204
事務所連絡先	TEL 03-3583-9037 (月水金 13-16時・除休日) FAX 03-5562-0853 メール kumiai@jmitu-ibm.org WEB https://www.jmitu-ibm.org/			
注)	上記窓口は事業所にこだわらず、連絡のとれる電話番号へどうぞ			
法律相談	労働問題・民事一般相談受付 (要予約)			
東京法律事務所	弁護士 水口洋介、今泉義電、本田伊孝	http://tokyolaw.gr.jp/ 東京都新宿区四谷1-4 四谷駅前ビル TEL 03-3355-0611 (代)		
旬報法律事務所	弁護士 大熊政一、山内一浩、並木陽介、細永貴子	http://junpo.org/ 東京都千代田区有楽町1-6-8松井ビル 受付7F TEL 03-3380-5311 (代)		
桜木町法律事務所	弁護士 岡田 尚	横浜市中区山下町207-2 関内JSビル6階 TEL 045-212-1503		
ほづみ法律事務所	弁護士 穂積匡史	http://hozumi-shinyuri.jp/ TEL 044-959-3550 川崎市麻生区上麻生1-6-1 かわしん新百合ヶ丘ビル305号		

IBM、今年もリストラを発表 昨年と同規模 3900人規模の削減か

そもそも黒字リストラは必要なのか

IBMは1月24日、2023年第4四半期の連結決算を発表し、その中で23年と同規模の人員を削減する方針を発表しました。方針では「workforce rebalancing」（労働力の再調整）という言葉が使われていますが、これはすなわち「リストラ」（人員削減）を意味します。

IBMは、22年第4四半期の決算を発表した昨年1月25日に、従業員の1.5%にあたる約3900の人員を削減する方針を発表していますので、今回発表のリストラも3900人規模の削減と想定されます。

ただ、IBMの23年通期の決算は対前年で増収・増益ですから、今回発表の「黒字リストラ」はそもそも必要なのでしょうか。いえいえ、リストラは雇用を奪うもの、決算がどうあれ、あつてはなりません。決算結果は経営者の責任です。リストラされる従業員はたまったものではありません。

上記の通り、IBMは1月24日にリストラ（人員削減）を実施する方針を発表しました。

昨年は、IBMが1月25日にリストラを実施する方針を発表し、組合に日本IBMで2月頃から退職勧奨が行われているという情報が寄せられましたので、今年もそろそろ日本IBMで退職勧奨が本格化しそうです。

その予兆と見られる情報として、すでに組合には昨年から、上司からPIPを指示されたという情報や、降格か、300万円の加算金付きの退職かのどちらかを選択せよと迫られたという情報が寄せられています。

今すぐ組合に加入しよう

日本IBMグループ、およびキンドリルジャパン・グループの従業員の

皆さんに申し上げます。

今リストラにあつている方、今リストラの不安に直面している方は、今すぐ組合に加入して、リストラから雇用をまもりましょう。

さらに、将来リストラにあうこと、将来リストラの不安に直面することは、いつだれに起こるかわかりませんので、その前に今すぐ組合に加入して、リストラから雇用をまもりましょう。

組合へのご連絡は3面の「組合なんでも相談窓口」までお願いします。

ウェブからは組合トップページ上部にある「ご意見ご相談」をクリックし、記入、送信して下さい。

リストラの方法と不安

リストラの方法、リストラの不安には次のようなものがあります。十分

に警戒しましょう。

【リストラの方法】

▼低評価▼PIP（業績改善プログラム）▼賃下げ▼降格（以上はパワハラ4点セット）

▼LPIC（Low Performance Identification Conversation）上司が低パフォーマンスと認定した従業員を対象にした業績改善プログラム。

目標未達になると次にPIPに進む）▼Bottom 10、15%（部門で認定した業績下位10、15%の従業員を退職させるため、チェックポイント・ツールでLow Performerのフラグ付けをする）▼退職勧奨（退職加算金・再就職支援プログラム有りをうたう）▼退職強要（退職を断つても繰り返される退職勧奨）▼人事からの低評価予告メール（日本IBMが過去に全

社規模のリストラで使用）

▼解雇予告▼会社や部門が人員削減を発表した▼会社が部門の分社化を発表した▼部門が業務の縮小・AI置き換え・移管（海外・関連会社などへの移管）を発表した

※部門が対象の場合でも、他部門の方も安心せず十分に警戒しましょう。

【リストラの不安】

▼チェックポイント業績評価が低評価だった、または上司から低パフォーマンスだと言われたので、上司からPIP／LPICを指示されそうに感じる▼上司があなに低評価／PIP／LPICを予告・示唆する発言をした▼上司があなに攻撃的・威圧的・不穏な言動を行った▼自部門で退職者が出た、またはそれが続くので、水面下でリストラが走っている気がする▼会社や部門のコスト削減圧力が強い、または業績が不振なので、水面下でリストラが走っている、近くリストラが走りそうな気がする